

# 令和6年1月1日能登半島地震 避難行動に関するアンケート調査結果報告

## 1 回答状況 (R6. 2. 6 現在)

- (1) 回答期間 令和6年1月10日(金)～1月31日(水)
- (2) 調査対象 北区の自治会長及び自治協議会委員を対象にアンケートを実施
- (3) 回答/配付 154通(回答数)/222通(配付数) (回答率: 69.4%)

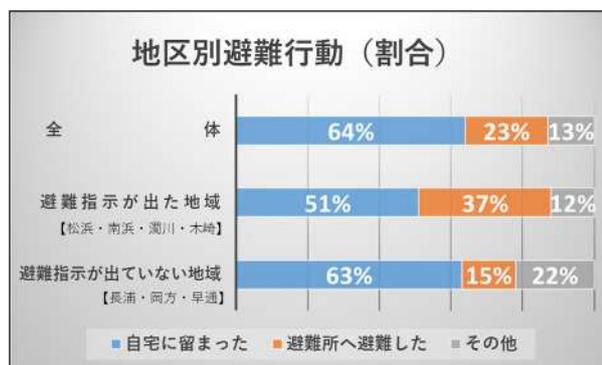
## 2 調査結果

問1:【全員】お住まいの地区をお聞かせください。

	松浜	南浜	濁川	葛塚	長浦	岡方	木崎	早通	その他	計
地区別回答者数	16	24	8	45	13	14	17	14	3	154

問2:【全員】北区では震度5弱の揺れを観測し、「津波警報」が発令されました。あなたの自治会(又はあなた自身)は、どのような避難行動をとりましたか。

	松浜	南浜	濁川	葛塚	長浦	岡方	木崎	早通	全体
自宅に留まった	4	15	2	38	6	11	12	9	97
避難所へ避難した	9	7	5	5	4	1	3	1	35
その他	3	2	1	2	3	2	2	4	19
計	16	24	8	45	13	14	17	14	151



※ 避難指示が出た(小学校区)地域 : 松浜・南浜・濁川・木崎地区

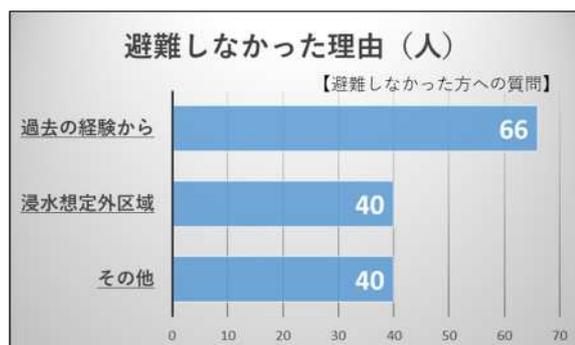
※ 避難指示が出ていない(小学校区)地域 : 長浦・岡方・早通地区

※ 葛塚地区は葛塚東小学校区に避難指示が出たが、葛塚小学校区には出ていないため、割合の対象外とした。

(その他・意見)

- ・自治防災会の役員として避難所へ駆けつけた。
- ・町内の見回り、避難困難者への電話での安否確認、避難所の状況確認を行った。
- ・避難所のパニックが予想されたため、運営のため避難所へ行った。
- ・自治会としては指示なし。揺れが大きかったので外へ避難した。
- ・家族全員、車を使い高い場所に避難した。
- ・高台の知人宅駐車場に避難した。
- ・自宅が高台にあるので、自宅でとどまることは、以前から決めていた。

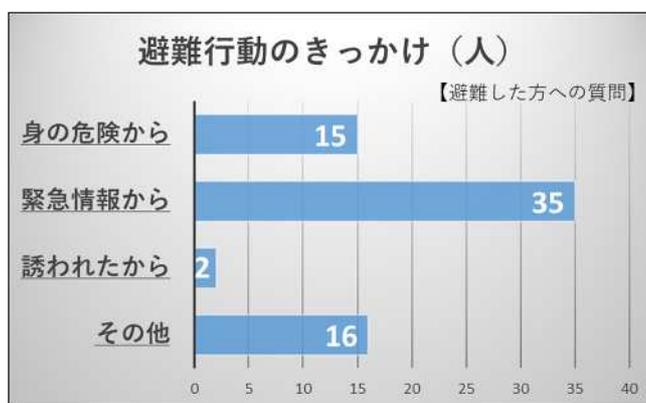
問3：【避難しなかった方への質問】 避難しなかった理由は何ですか（複数回答可）



(その他・意見)

- ・ 高齢の母の状態を見て判断した。
- ・ 障がいがあるため、他人に迷惑を掛けたくないと思ったから。
- ・ 避難所生活が困難な為、垂直避難を予め決めていた。
- ・ 津波の高さと海抜から、垂直避難で十分だと思った。
- ・ 海岸から離れた場所かつ高台のため、避難しなかった。
- ・ 被災状況や、津波浸水区域外等の情報から安全と判断した。
- ・ 新潟市公式LINEの情報で、津波の危険なしと判断した。
- ・ 自治会内の被害確認の為、避難する余裕がなかった。
- ・ 家屋及びライフラインに影響がなかったから避難しなかった。

問4：【避難した方への質問】 避難行動のきっかけは何ですか（複数回答可）



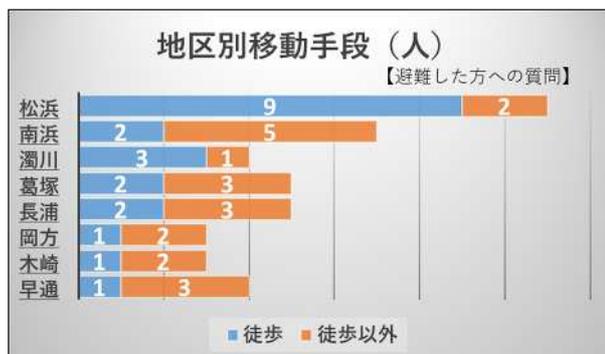
(その他・意見)

- ・ 避難所における状況把握のため。
- ・ 避難所運営所長からの出動要請があり、その運営に従事しているため。
- ・ 震度4以上+津波の可能性があり、避難所開設するため。
- ・ 地区長より避難者誘導の連絡があったため。
- ・ 自治・防災組織会長として、地域の安全確保するため。
- ・ 避難者数に応じた対応があると思ったから。
- ・ 避難所の屋上に避難している人がいたから。
- ・ 高齢の母親が居たため。
- ・ 古い家で、倒壊の危険を感じたから。

問5：【避難した方への質問】 どのような交通手段で避難しましたか。

	松浜	南浜	濁川	葛塚	長浦	岡方	木崎	早通	全体
徒歩	9	2	3	2	2	1	1	1	21
徒歩以外	2	5	1	3	3	2	2	3	21
計	11	7	4	5	5	3	3	4	42

	全体	松浜地区
徒歩	21	9
徒歩以外	21	2
計	42	11



・松浜地区は他地区と比べ徒歩避難の割合が高い。

・松浜地区は、日頃から津波に対する避難訓練を実施しており、津波発生時における徒歩避難の重要性が認知されていた。

問6：【避難した方への質問】 避難した際に何を持ち出しましたか。(複数回答可)



- ・食料品：水、非常食、お菓子類など
- ・防災品：ラジオ、ライト、電源類など
- ・貴重品：携帯電話、預金、身分証明書類など
- ・衣類等：着替え、コート、雨具など

問7：避難するにあたって感じたことがありましたら記載してください。（自由記載）

- ・大災害時の運営体制は？行政に任せきりではなく、自治会としての備えも必要。
- ・避難所運営マニュアルを作成して実践できた事を話し合っ、今後に生かしたい。
- ・避難時の手順について、細部にわたる再検討が必要。
- ・誰が運営側か分からない。履物入れの準備、避難者ごとの区域分けが必要。
- ・誰が鍵を持っているのか分かるようにしてほしい。
- ・鍵の取扱いについて考えるべき。
- ・避難場所の受付名簿を町内別にしてほしい。車での避難が多く、駐車場が満車になった。
- ・車で避難する方が多かった。
- ・交通渋滞が凄かった。平日の同時間帯だったら、より深刻な被害だっただろう。
- ・小学校は教室ごとに自治会を割り振るべきだったのではないか。
- ・避難所に土足で入れた事、暖房がすぐに入った事が有難かった。
- ・ペット連れの家族とそうでない家族の区分が必要。
- ・防災訓練のおかげで600名が避難所へ避難できて良かった。
- ・避難所開設の明確な基準がないのでは。
- ・下肢不自由の為、避難できるか不安。要支援者名簿を基に、受け入れ施設を選定しておいてほしい。

○避難所の開設基準

(1) 地震（津波なし）の場合

震度6弱以上を観測した区	速やかに避難所を開設 ※安全が確認できない施設は開設しない
震度5弱・5強を観測した区	危機管理監または区長が避難所として開設の必要があると判断した場合は開設

(2) 地震＋津波の場合

			震度4以下の区	震度5弱・5強の区	震度6弱以上の区
津波注意報・津波警報・大津波警報	浸水想定区域内にある避難所	津波避難ビルを兼ねる <u>(松浜小、松浜中)</u>	開設しない※1	状況に応じて開設する※2	開設する※3
		津波避難ビルを兼ねない <u>(北地区コミセン)</u>	開設しない	状況に応じて開設する※2	開設する※3
	浸水想定区域外にある避難所 <u>(上記以外の避難所)</u>		開設しない※1	状況に応じて開設する	開設する

※1：避難所として開設しませんが、緊急避難場所として一時的に避難者を受け入れます。

※2：津波注意報等の解除後に状況に応じて開設します。

※3：津波注意報等の解除後に避難所として開設します。